中学理科プリント（書き取り）
植物・動物の分類 No.6

名前

得点 ／22

1. 種子植物が発芽する際、最初の養分を蓄えている葉の部分を何という？
2. 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？
3. 胎生を行う動物において、親から栄養や酸素を子に受け渡すための特別な器官を何という？
4. 顕微鏡の対物レンズが、観察するものに最も近い位置で果たしている役割を何という？
5. 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？
6. 肺呼吸のほかに、皮膚を通した呼吸を併用して酸素を取り込む生物のグループを何というか？
7. 被子植物において、受粉後に発達して種子となる植物の組織を何という？
8. 顕微鏡で観察する際、対物レンズとプレパラートとの距離を調整するために回すねじを何という？
9. 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
10. 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？
11. 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？
12. 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
13. 被子植物が種子から発芽した際に最初に出る葉のことを何という？
14. 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？
15. 一般的に、顕微鏡の倍率が高い対物レンズほど、レンズの形にはどのような特徴があるか？
16. 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
17. 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？
18. コケ植物が体を地面や岩に固定するために持つ、根のような働きをするつくりを何という？
19. 顕微鏡の構成要素のうち、観察者の目に近い位置にあるレンズを何という？
20. 昆虫やクモ、エビやカニなど、体や足に節があり、外骨格を持つグループを総称して何という？
21. 周囲の気温が変化しても、体内で熱を産生して体温を一定に保つことができる動物を何という？
22. 顕微鏡の倍率を決める際、目元側に取り付けられているレンズを何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「植物・動物の分類」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.6 植物・動物の分類

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	マメのなかまなどでは、この養分が**子葉**にたくわえられています。	**子葉**	□
2	**単子葉類**は、子葉が1枚であること以外にも、根がひげ状にたくさん生える「ひげ根」や、葉脈が平行な「平行脈」であるといった共通の特徴を持っています。	**単子葉類**	□
3	**胎盤**は、子宮内に形成され、母体と胎児をつなぐ器官です。	**胎盤**	□
4	顕微鏡の対物レンズは、試料からの光を最初に集めて**拡大**像を作る重要なパーツです。	**拡大**	□
5	**哺乳類**は、体毛を持ち、体温を一定に保つ恒温動物です。	**哺乳類**	□
6	**両生類**は、幼生期はえら呼吸、成体になると肺呼吸と皮膚呼吸の両方を行うという特徴を持つ生物です。	**両生類**	□
7	**胚珠**は、めしべの下部にある子房の中に守られています。	**胚珠**	□
8	**調節ねじ**は、顕微鏡の鏡筒やステージを動かして対物レンズとプレパラートの距離を調整する部品です。	**調節ねじ**	□
9	**胎生**では、親の体内から栄養を供給しながら子を育てます。	**胎生**	□
10	双子葉類の葉には、網目状に広がった線が見られます。これが**葉脈**です。	**葉脈**	□
11	体が大きくなると古い殻を破って脱ぎ捨て、新しい柔らかい殻が固まるまでの間に体を急激に大きくします。	**脱皮**	□
12	**被子植物**は、種子植物の中で最も多くの種を含み、私たちの身近な野菜や花、樹木の多くが含まれます。	**被子植物**	□
13	**子葉**は、種子が発芽した時に最初に見られる葉のことで、胚の一部が発達したものです。	**子葉**	□
14	これは、観察する試料を載せる長方形の「**スライドガラス**」と、その上から被せる「カバーガラス」の2枚のガラス板で構成されます。	**スライドガラス**	□
15	対物レンズは、倍率が高くなるほどレンズが大きくなり、鏡筒自体の長さも**長く**なるのが特徴です。	**長く**	□
16	植物の生殖において、おしべから出た花粉が同じ種類または同じ個体のめしべの先端（柱頭）に付着する現象を「**受粉**」といいます。	**受粉**	□
17	**師管**は維管束の構成要素の一つで、葉でつくられた糖などの養分を、体内の必要な場所へ分配する役割を果たします。	**師管**	□
18	**仮根**は、コケ植物の体の下部から伸びる細い糸のような組織です。	**仮根**	□
19	**接眼レンズ**は、顕微鏡の鏡筒の最上部にあるレンズです。	**接眼レンズ**	□
20	**節足動物**は、体全体が節（ふし）で構成されており、硬い外骨格を持つのが最大の特徴です。	**節足動物**	□
21	食事で得たエネルギーを使って体内で熱を産生し、常に安定した体温を維持します。	**恒温動物**	□
22	**接眼レンズ**は、観察者がのぞき込む位置にあるレンズのことです。	**接眼レンズ**	□

言えなかった用語ノート

中学理科プリント（書き取り）
植物・動物の分類 No.7

名前

得点 ／21

1. 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
2. 植物の根の表面にある、水や養分を効率よく吸収するための小さな突起を何という？
3. 太い主根がなく、多数の細い根が広がっている根のタイプを特徴とする植物のグループを何という？
4. 脊椎動物の体の中心にあって、体を支えたり素早く動いたりする働きを持つ、硬い骨組みの集合体を何という？
5. 種子から最初に出る葉が2枚である植物のグループを何という？
6. アサリやカキのように、内臓が外とう膜に包まれ、二つの殻を持つ軟体動物のグループを何という？
7. 双子葉類の葉で見られる、葉脈が網目状に広がっている並び方を何というか？
8. 体温が周囲の環境温度の影響を直接受けて変化してしまう動物のグループを何という？
9. 顕微鏡の対物レンズが、観察するものに最も近い位置で果たしている役割を何という？
10. 被子植物において、受粉のときに花粉が付着する、雌しべの先端部分を何という？
11. マツのような裸子植物において、胚珠がむき出しの状態から成長して形成される、繁殖のための器官を何という？
12. 肺の中で、血液と酸素をやり取りするために表面積を広げている小さな袋状の器官を何という？
13. 生物の細胞を顕微鏡で観察する際、核などの構造をはっきりと見えやすくするために使われる薬品の一種を何という？
14. イカや貝類のように、筋肉質の膜で内臓が包まれているグループに見られる器官を何という？
15. 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？
16. 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？
17. 背骨を持たない動物のグループの総称は何？
18. シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水や養分を運ぶ管が束になったつくりを何という？
19. 多くの魚類が体表面を覆い、物理的な刺激から体を守るために持つ硬い板状の組織を何という？
20. 松や杉、ヒノキのように、葉が細長く乾燥に強い形状をしている植物のグループを何という？
21. 種子をつくらず胞子でふえ、根・茎・葉の区別があり維管束を持つ植物のグループを何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「植物・動物の分類」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.7 植物・動物の分類

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	被子植物は、種子植物の中で最も多くの種を含み、私たちの身近な野菜や花、樹木の多くが含まれます。	被子植物	□
2	根毛は、根の表皮細胞が管状に突き出したものです。	根毛	□
3	単子葉類は、種子から発芽した初期の根がやがて衰え、茎の基部から多数の細い根が出てくる「ひげ根」を持つのが特徴です。	単子葉類	□
4	骨格は、脊椎動物の体を内側から支える重要な構造です。	骨格	□
5	双子葉類は、子葉が2枚であることに加え、主根と側根からなる根系や、葉脈が網目状（網状脈）であることなどが特徴です。	双子葉類	□
6	外套膜（がいとうまく）から分泌される成分で二つの殻を作り、その中に柔らかい体を収めています。	二枚貝	□
7	網状脈は、葉の中央にある太い主脈から枝分かれし、細かい支脈が網目のようなパターンを作る構造です。	網状脈	□
8	魚類、両生類、爬虫類などが該当します。	変温動物	□
9	顕微鏡の対物レンズは、試料からの光を最初に集めて拡大像を作る重要なパーツです。	拡大	□
10	柱頭は雌しべの先端にあり、表面がねばりけを持っているため、風や虫に運ばれてきた花粉がつきやすくなっています。	柱頭	□
11	受粉後、この胚珠が成長して種子になります。	種子	□
12	肺胞は、肺の中にある小さな袋状の器官です。	肺胞	□
13	「酢酸カーミン溶液」や「酢酸オルセイン溶液」は、代表的な染色液です。	酢酸カーミン	□
14	外套膜は、貝類やイカ、タコなどの体に見られる筋肉質の組織です。	外套膜	□
15	哺乳類は、体毛を持ち、体温を一定に保つ恒温動物です。	哺乳類	□
16	単子葉類は、子葉が1枚であること以外にも、根がひげ状にたくさん生える「ひげ根」や、葉脈が平行な「平行脈」であるといった共通の特徴を持っています。	単子葉類	□
17	無脊椎動物は、背骨がない動物の分類です。	無脊椎動物	□
18	維管束は、根から吸い上げた水や養分を運ぶ管の束です。	維管束	□
19	皮膚から変化した組織で、体全体を覆っています。	うろこ	□
20	針葉樹は、その名の通り針のような葉を持つのが特徴です。	針葉樹	□
21	シダ植物は種子をつくらず胞子でふえますが、根・茎・葉の区別があり、水や養分の通り道である維管束を持っています。	シダ植物	□

言えなかった用語ノート

中学理科プリント（書き取り）
植物・動物の分類 No.8

名前

得点 ／23

1. 硬い外骨格を持つ動物が、成長の過程で古い殻を脱ぎ捨てる現象を何という？
2. 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？
3. 種子植物が発芽する際、最初の養分を蓄えている葉の部分を何という？
4. アサガオやタンポポのような双子葉植物に見られる、中心となる最も太い根のことを何という？
5. 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
6. 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
7. 親が卵を産み、親の体外で卵の中の子が育って生まれる繁殖方法を何という？
8. 周囲の気温や水温の変化に合わせて体温が変化してしまう動物の分類を何という？
9. 爬虫類が体の乾燥を防ぐために全身を覆っている硬い構造を何という？
10. 節足動物などの体の表面を覆う、成長とともに脱皮を繰り返す必要がある硬い殻を何という？
11. 花のめしべの根元にある、将来果実になるふくらんだ部分を何という？
12. 根において、主根と側根の区別がある発達した根のタイプが見られるのは、どのような植物のグループか？
13. 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？
14. 葉脈が網目状に広がっていることが特徴である、被子植物の分類の一つを何という？
15. 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？
16. 昆虫やクモ、エビやカニなど、体や足に節があり、外骨格を持つグループを総称して何という？
17. アサリやカキのように、内臓が外とう膜に包まれ、二つの殻を持つ軟体動物のグループを何という？
18. マツのような裸子植物において、胚珠がむき出しの状態から成長して形成される、繁殖のための器官を何という？
19. 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？
20. 被子植物において、受粉後に子房全体が成長して変化した形のものを何という？
21. 背骨を持たない動物のグループの総称は何？
22. 葉脈の並び方が平行になっている植物のグループを何というか？
23. 種子から最初に出る葉が2枚である植物のグループを何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「植物・動物の分類」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.8 植物・動物の分類

言えた　／23

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	脱皮は、新しい柔らかい殻をあらかじめ形成し、古い殻を割ってそこから抜け出す現象です。	脱皮	□
2	双子葉類の葉には、網目状に広がった線が見られます。これが葉脈です。	葉脈	□
3	マメのなかまなどでは、この養分が子葉にたくわえられています。	子葉	□
4	主根は、種子から出た幼根がそのまま太く成長したものです。	主根	□
5	被子植物は、種子植物の中で最も多くの種を含み、私たちの身近な野菜や花、樹木の多くが含まれます。	被子植物	□
6	胎生では、親の体内から栄養を供給しながら子を育てます。	胎生	□
7	親が卵を産み、その中で子が成長して孵化する繁殖形態を卵生といいます。	卵生	□
8	変温動物とは、体温を一定に維持する能力が低く、周囲の気温や水温によって体温が変動する動物です。	変温動物	□
9	爬虫類の体表を覆う「うろこ」は、水分が体外へ蒸発するのを防ぐ重要な役割を果たしています。	うろこ	□
10	外骨格は、硬いキチン質などでできた体の外側を覆う殻です。	外骨格	□
11	子房はめしべの最も下の部分にあるふくらんだ器官で、内部に胚珠を保護しています。	子房	□
12	双子葉類は、発芽したときに伸びる太い主根と、その横から伸びる細い側根を持つのが最大の特徴です。	双子葉類	□
13	単子葉類は、子葉が1枚であること以外にも、根がひげ状にたくさん生える「ひげ根」や、葉脈が平行な「平行脈」であるといった共通の特徴を持っています。	単子葉類	□
14	双子葉類は、葉脈が網目状に広がっている網状脈を持つのが特徴です。	双子葉類	□
15	師管は維管束の構成要素の一つで、葉でつくられた糖などの養分を、体内の必要な場所へ分配する役割を果たします。	師管	□
16	節足動物は、体全体が節（ふし）で構成されており、硬い外骨格を持つのが最大の特徴です。	節足動物	□
17	外套膜（がいとうまく）から分泌される成分で二つの殻を作り、その中に柔らかい体を収めています。	二枚貝	□
18	受粉後、この胚珠が成長して種子になります。	種子	□
19	体が大きくなると古い殻を破って脱ぎ捨て、新しい柔らかい殻が固まるまでの間に体を急激に大きくします。	脱皮	□
20	受粉を経て胚珠が種子に変わるのと同時に、それを取り囲む子房壁が成長して果実となります。	果実	□
21	無脊椎動物は、背骨がない動物の分類です。	無脊椎動物	□
22	単子葉類は、種子から発芽する際に子葉が1枚だけ出てくるグループを指します。	単子葉類	□
23	双子葉類は、子葉が2枚であることに加え、主根と側根からなる根系や、葉脈が網目状（網状脈）であることなどが特徴です。	双子葉類	□

言えなかった用語ノート

中学理科プリント（書き取り）
植物・動物の分類 No.9

名前

得点 ／22

1. 体の中に棒状の骨格を持ち、それが体を支える中心となっている動物群を何という？
2. イカや貝類のように、筋肉質の膜で内臓が包まれているグループに見られる器官を何という？
3. ハチやチョウなどの昆虫によって花粉を運んでもらう植物の花を何という？
4. 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？
5. 受粉のあと、成長して中にある種子を守る役割を果たす部分を何という？
6. 受粉後、花の植物の器官のうち、成長して種子に変わる部分を何という？
7. 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？
8. 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？
9. 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？
10. 脊椎動物の体の中心にあって、体を支えたり素早く動いたりする働きを持つ、硬い骨組みの集合体を何という？
11. 被子植物において、受粉後に発達して種子となる植物の組織を何という？
12. 根から吸い上げた水や、そこに溶けている無機養分を体全体に運ぶための管を何という？
13. 魚類などが水中から気体を効率よく取り込むために必要な物質は何か？
14. 被子植物が種子から発芽した際に最初に出る葉のことを何という？
15. 花粉がめしべの先端部分に付着することを受粉というが、そのめしべの先端部分を何という？
16. 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
17. 葉の根元から先端にかけて真っ直ぐに伸びるタイプの葉脈を何という？
18. シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水や養分を運ぶ管が束になったつくりを何という？
19. 花の最も外側にあって、つぼみのときに花の内側を守っている、緑色の部分を何という？
20. おしべやめしべなどの花を咲かせ、子房の中に胚珠があることで子孫を残す植物のグループを何という？
21. 背骨を持ち、体温を一定に保つ性質を持つグループのうち、乳を分泌して子を育てるものを何という？
22. 単子葉類に見られる、太い中心の根がなく、細い根が多数集まった根の形態を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「植物・動物の分類」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.9 植物・動物の分類

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	脊椎動物は、背骨（脊柱）という硬い構造を体の中心に持ち、これが運動や体を支える土台となります。	脊椎動物	□
2	外套膜は、貝類やイカ、タコなどの体に見られる筋肉質の組織です。	外套膜	□
3	虫媒花は、目立つ花びらや甘い蜜、香りなどを出します。	虫媒花	□
4	これは、観察する試料を載せる長方形の「スライドガラス」と、その上から被せる「カバーガラス」の2枚のガラス板で構成されます。	スライドガラス	□
5	受粉後に子房が成長してできるのが果実です。	果実	□
6	花において、めしべの根元にあるふくらみを子房と呼び、その中にある小さな粒が胚珠です。	胚珠	□
7	師管は維管束の構成要素の一つで、葉でつくられた糖などの養分を、体内の必要な場所へ分配する役割を果たします。	師管	□
8	哺乳類は、体毛を持ち、体温を一定に保つ恒温動物です。	哺乳類	□
9	双子葉類の葉には、網目状に広がった線が見られます。これが葉脈です。	葉脈	□
10	骨格は、脊椎動物の体を内側から支える重要な構造です。	骨格	□
11	胚珠は、めしべの下部にある子房の中に守られています。	胚珠	□
12	道管は維管束の一部を構成する管で、主に根から上方向へ向かって水や水に溶けた栄養分を輸送します。	道管	□
13	酸素は生物の呼吸において必須の元素です。	酸素	□
14	子葉は、種子が発芽した時に最初に見られる葉のことで、胚の一部が発達したものです。	子葉	□
15	柱頭はめしべの最も先端にある部分で、花粉を効率よく受け止める役割があります。	柱頭	□
16	被子植物は、種子植物の中で最も多くの種を含み、私たちの身近な野菜や花、樹木の多くが含まれます。	被子植物	□
17	平行脈は、葉の根元から先端まで葉脈が平行に走っている状態を指します。	平行脈	□
18	維管束は、根から吸い上げた水や養分を運ぶ管の束です。	維管束	□
19		がく	□
20	被子植物は、花びらやがく、おしべ、めしべといった構造を持つことが特徴です。	被子植物	□
21	哺乳類は、鳥類とともに恒温動物に分類される脊椎動物のグループです。	哺乳類	□
22	ひげ根は、トウモロコシやイネ、ユリなどの単子葉類に見られる特徴的な根の形です。	ひげ根	□

言えなかった用語ノート

中学理科プリント（書き取り）
植物・動物の分類 No.10

名前

得点 ／21

1. 太い主根がなく、多数の細い根が広がっている根のタイプを特徴とする植物のグループを何という？
2. 顕微鏡の全体の倍率を求める際、対物レンズの倍率ともう一つ組み合わせて掛け合わせる、鏡筒の上の部分に取り付けられたレンズのことを何という？
3. 葉の根元から先端にかけて真っ直ぐに伸びるタイプの葉脈を何という？
4. 花粉がめしべの先端部分に付着することを受粉というが、そのめしべの先端部分を何という？
5. 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
6. 肺の中で、血液と酸素をやり取りするために表面積を広げている小さな袋状の器官を何という？
7. 種子から最初に出る葉が2枚である植物のグループを何という？
8. 肺呼吸のほかに、皮膚を通した呼吸を併用して酸素を取り込む生物のグループを何というか？
9. ハチやチョウなどの昆虫によって花粉を運んでもらう植物の花を何という？
10. 葉脈が網目状に広がっていることが特徴である、被子植物の分類の一つを何という？
11. コケ植物が体を地面や岩に固定するために持つ、根のような働きをするつくりを何という？
12. 親が卵を産み、親の体外で卵の中の子が育って生まれる繁殖方法を何という？
13. カバーガラスを試料にかぶせる際、観察の邪魔にならないよう入らないように注意すべき空気の塊のことを何という？
14. 節足動物などの体の表面を覆う、成長とともに脱皮を繰り返す必要がある硬い殻を何という？
15. コケ植物のように種子を作らず、受粉せずに増えるために用いられる微細な繁殖用の粒を何という？
16. 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
17. シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水や養分を運ぶ管が束になったつくりを何という？
18. 花のめしべの根元にある、将来果実になるふくらんだ部分を何という？
19. 両生類の幼生が水中で呼吸するために用いる器官を何という？
20. 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
21. アサガオやタンポポのような双子葉植物に見られる、中心となる最も太い根のことを何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「植物・動物の分類」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.10 植物・動物の分類

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	単子葉類は、種子から発芽した初期の根がやがて衰え、茎の基部から多数の細い根が出てくる「ひげ根」を持つのが特徴です。	単子葉類	□
2	顕微鏡には、観察対象に近い側にある「対物レンズ」と、人間が覗き込む側にある「接眼レンズ」の2種類があります。	接眼レンズ	□
3	平行脈は、葉の根元から先端まで葉脈が平行に走っている状態を指します。	平行脈	□
4	柱頭はめしべの最も先端にある部分で、花粉を効率よく受け止める役割があります。	柱頭	□
5	胎生では、親の体内から栄養を供給しながら子を育てます。	胎生	□
6	肺胞は、肺の中にある小さな袋状の器官です。	肺胞	□
7	双子葉類は、子葉が2枚であることに加え、主根と側根からなる根系や、葉脈が網目状（網状脈）であることなどが特徴です。	双子葉類	□
8	両生類は、幼生期はえら呼吸、成体になると肺呼吸と皮膚呼吸の両方を行うという特徴を持つ生物です。	両生類	□
9	虫媒花は、目立つ花びらや甘い蜜、香りなどを出します。	虫媒花	□
10	双子葉類は、葉脈が網目状に広がっている網状脈を持つのが特徴です。	双子葉類	□
11	仮根は、コケ植物の体の下部から伸びる細い糸のような組織です。	仮根	□
12	親が卵を産み、その中で子が成長して孵化する繁殖形態を卵生といいます。	卵生	□
13	カバーガラスを載せる際に空気が入ってしまうと、それが「気泡」となり、観察したい細胞や組織と混同してしまう可能性があります。	気泡	□
14	外骨格は、硬いキチン質などでできた体の外側を覆う殻です。	外骨格	□
15	胞子とは、植物体が単独で次世代の個体を作るために放出する微細な細胞の集まりです。	胞子	□
16	植物の生殖において、おしべから出た花粉が同じ種類または同じ個体のめしべの先端（柱頭）に付着する現象を「受粉」といいます。	受粉	□
17	維管束は、根から吸い上げた水や養分を運ぶ管の束です。	維管束	□
18	子房はめしべの最も下の部分にあるふくらんだ器官で、内部に胚珠を保護しています。	子房	□
19	幼生期を持つ両生類は、水中で生活するため、酸素を効率よく取り込むための「えら」を持っています。	えら	□
20	被子植物は、種子植物の中で最も多くの種を含み、私たちの身近な野菜や花、樹木の多くが含まれます。	被子植物	□
21	主根は、種子から出た幼根がそのまま太く成長したものです。	主根	□

言えなかった用語ノート